

平成19年第5回（12月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	◎ 市長の政治方針をただす 4年間の高野市政の総括をする。 (1) 公約は守られたか (2) 人口対策はどうなったか (3) 税收対策はどうなったか (4) 佐渡観光対策はどうなっているのか (5) 空港対策、佐渡汽船対策について (6) 職場の機構改革について（副市長について、部長制について） (7) 来期の出馬と将来展望について（若者の定着と雇用対策について） (8) イービス艦の基地と航空自衛隊の誘致について (9) 防災無線の機能について (10) 委託事業に問題はないか (11) 過疎地の道路整備について（特に県道赤玉線）	大澤祐治郎
2	1 市長4年間の総括について ○ 12月定例議会は、高野市政の4年間を締めくくる議会でもある。合併直後に、国の財政改革の嵐をもろに受けて、建設計画の大幅な見直しを迫られる等、波乱続きの4年間であったが、大過なく「佐渡丸」を今日まで運航してきた高野市長と執行部に敬意を表したい。その上で、市長自身はこの時期4年間をどのように総括されるのか、素直なご感想を承りたい 2 佐渡病院の新築促進について ○ 安全安心の島づくりは、合併の大きな眼目である。中でも病院施設の充実、市民が等しく渴望するところであるが、佐渡病院の新築問題が地元の協議の遅れから、厚生連内での建築順位が落とされるおそれがあるとの不安が関係者内に広がりつつあると聞く。建築促進のための方途について伺いたい 3 指定管理者制度について ○ 指定管理者制度は、民間の手法を取り入れて、サービスの向上と経費の節減を図ろうとすることでスタートした。2年間の経験を経て、かなり不合理な点が目立つ。制度の見直しが必要と思うが、見解を伺いたい 4 佐渡金銀山の世界遺産登録について ○ 明年4月に暫定登録地の発表があると聞く。現時点での見通しと取組みの状況について伺いたい 5 離島振興について ○ 売るものは安く、買うものは高いという離島の宿命的な環境で生活する島人にとって、高野新会長の手腕に期待するところは大である。高野市長は、離島振興協議会の機関誌「しま」211号に、会長就任の挨拶文を寄せられて、「離島から日本を変えてゆく」という確固たる信念のもと努力したいと述べている。何をどのように変えて島民の生活向上を図ろうとされるのか、具体例について伺いたい	渡 邊 庚 二
3	1 指定管理者制度について (1) 条例見直しは検討されているか	小 田 純 一

順	質 問 事 項	質 問 者
3	① 利用者、市民による運営委員会等のチェック機関設置 ② 継続性の確保 ③ 人材確保と能力の要件明記 (2) 指定管理対象施設の見直しは検討されているか 2 米価下落、政治情勢の変化等流動化する環境下における市の農業政策について (1) 担い手組織育成の方向と支援策 (2) 環境保全型農業への推進・支援策 (3) 生産調整へのかかわり (4) J A等農業団体との協働は (5) 農地・水・環境保全対策事業の今後の推進 (6) 地産地消推進状況（学校給食等公的施設、観光施設） 3 定住、半定住人口促進事業の現状は ○ 基盤整備と情報発信 4 機構改革と市民サービスについて (1) 支所機能は ・ 税務相談、工事要望等予算関連要求への対応。地区主要イベントとのかかわり。保健師の配置はどうか (2) 本庁機能 ・ 課、室の見直し。副市長複数制、部長制の見直しは。分庁の本庁周辺施設への配置 (3) 職員異動について	小 田 純 一
4	1 南佐渡の観光拠点整備について (1) 南佐渡観光の位置づけは（目指す方向） (2) 拠点整備は支所、観光協会と一体で推進しているか（リピーター増には観光客の7～8割が満足するエリアへの整備が必要） (3) 宿根木町並み保存地区、沢崎鼻灯台周辺、城山公園、矢島経島地区等の整備状況は 2 トキとコウノトリ放鳥事業から ○ 放鳥事業、佐渡市と豊岡市の相違と問題点、その対策は（トップダウンとボトムアップ、施設の分散と施設集中等々） 3 佐渡市の消防と医療から問う (1) 消防15分、救急30分体制の道路整備計画の状況は (2) 両津大火の反省と教訓は何か（ハードとソフト、日ごろの訓練成果） (3) その後の地域医療計画推進と市立病院運営委員会の近況は（審議内容、運営形態、規模、医療レベル、診療機能等、医師確保） (4) 厚生連との二人三脚は二次医療完結に必要不可欠、足並みは (5) 総合病院建設計画、市民への公開時期はいつか	村 川 四 郎
5	1 次なる4年間の目標について (1) 財政規模を設定して計画的に縮減すべきと思うが、平成23年度の目標額を示されたい	田 中 文 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
5	(2) 市政の次なるイメージ、テーマがあれば紹介されたい (3) 掲げる公約を提示されたい (4) 主要施策に優先度をつけて、併せて具体策があれば示されたい 2 本市の骨格作りについて (1) 自治基本条例について(我孫子市の失敗例を参考に)所見を問う (市長の多選禁止、議員定年制等々) (2) 行革の更なる断行を妨げている支障があるか (支所の統廃合、部制の廃止、「公の施設」の廃止～譲渡、財政「健全化法」の導入) 3 公共施設の利用・使用の原則について (1) 政治、宗教、営利目的の使用禁止 (2) 施設の特性に応じた優先使用 (3) 主たる使用団体への優遇措置	田 中 文 夫
6	1 農業振興について (1) 4ブロック農業振興政策について (2) 米の戦略的販売について (3) 耕作放棄地対策について 2 林業振興について (1) 公共工事における佐渡産指定状況について (2) 森林整備について (3) 流通について 3 公共施設のバリアフリー化について (1) 整備状況について (2) 整備計画について	金 光 英 晴
7	1 休日勤務手当について (1) 県内の消防本部で、休日勤務手当の過払いが相次いで発覚したことに伴い、各部局の調査状況を尋ねる (2) 過払い、未払いが発生した場合の対応と、条例に問題はないかを尋ねる 2 福祉保健行政について (1) 市民病院をはじめ、各施設の休日勤務手当の状況を問う (2) 肝炎対策の取組み状況を尋ねる (3) 0歳児から保育園での肝炎予防対策が行われているか、調査の状況を尋ねる (4) 妊婦健診の負担軽減と助成拡充への取組みを伺う 3 地産地消の充実に向けて (1) 地産地消の考え方と取組みについて (2) 佐渡の土、石、貝、木、竹などを利活用した工芸品を島内で消費する運動が必要と考えるが 4 加茂湖周辺整備について (1) 加茂湖の所有者は誰なのか (2) 関係各部の周辺整備について、調査状況及び取組みを尋ねる (3) 加茂湖冬期波浪対策と取組みを尋ねる	本間千佳子

順	質 問 事 項	質 問 者
8	1 自主財源の基礎となる佐渡市税収等の強化について ○ 市税全般、下水道、し尿処理料、学校給食費、保育料等の未納について 2 佐渡市の観光・地域イベントについて 3 子育て支援について (1) 平成19年度は18年度に比べ乳幼児・子供支援には5千万増の予算編成をしたというが、具体的にどれとどれが多くなったのか事業名と昨年対比の予算を明示されたい (2) 子育てエンジョイカードの利用状況の現状 (3) 都市公園の遊具が撤去され殺風景だが、19年度新たにどことどこの都市公園に新しい遊具を設置したのか 4 学校教育について (1) 文部科学省がいじめの認定基準を見直したが、11月末現在、佐渡市小・中学校のいじめの実態は (2) 全国一斉学力テストの結果と今後の対応について (3) 佐和田給食センター配食の虫混入について (4) 金井小学校卒業生への机贈呈問題について 5 環境問題について ○ 外来種が在来種の草木を駆逐し生態系を乱す現状が見られるが、その対策は	廣 瀬 擁
9	1 保育料滞納について ○ 平成19年今現在での滞納残高は。また徴収対策は 2 指定管理者について ○ サンスポーツランド畑野の管理状態について 3 佐渡市陸上競技場について ○ 平成22年から第3種陸上競技場が第4種になるが対応は 4 本庁周辺整備について ○ 来年度の整備計画は 5 佐渡市人材育成基金条例について 6 子育て支援事業について (1) 子育てエンジョイカードについて (2) 「マタニティーマーク」と「ベビーファースト」運動について	中 川 隆 一
10	1 公職選挙法問題について (1) 政治団体の広報活動と選挙管理委員会のアドバイスについて (2) 政務調査費の支給と申告について 2 平成20年～24年の財政構造と政策課題について (1) 合併当時に想定した財政見通しと現状について (2) 合併前に確立した旧市町村の特徴ある街造りを維持する責務と発展課題について（旧両津市を中心にただす） (3) 「限界集落」の現状と政策課題について (4) 市民が市に期待するものと財政計画が語る政策課題について (5) 今日の政策課題と副市長2人制の問題点について	加 賀 博 昭

順	質 問 事 項	質 問 者
10	3 指定管理者制度について (1) 勤労青少年ホーム、野球場の使用について、住民サービスについて発生した若干の問題について (2) 20年3月以降、指定管理業務を辞退するとの文書の問題点について 4 燃油問題について ○ 価格表示の要請と国に対する対策について	加 賀 博 昭
11	1 島民の暮らしと航路の問題点 離島地域が、わが国の排他的経済水域などを保全する上で、重要な国家的役割を担っておりながら、離島住民は、すべての面において本土との格差を感じており、国における格差是正の手立ても解決策も整っているというには程遠く、新たな視点で離島対策に取り組む必要が求められている。国は、本土と離島の格差を「価値ある地域差」などと言っているが、現状と実情を全く把握していない言葉である。今議会では、本土との格差是正をテーマに議論を深めてみたいと考えている。 (1) 佐渡と同じ離島で、道路と農道を合わせ、本土と離島、離島と離島が橋でつながっている県別の島と橋の数 (2) 橋でつながった結果、離島でなくなり、離島振興法の枠から脱出できた島の県別の数と、継続を含む本土と離島、離島と離島間の架橋の今年度の着工件数 (3) 離島航路を国道と指定している県別航路数と島の数 (4) 四国の3本の橋を含め、本土との間の架橋で国道の指定を受けているのは何件で、離島と離島が橋でつながっている国道は何件か。その場合、橋の延長距離は国道として道路建設と維持管理費に含まれていると考えるが、その平均的な国道の100m当たりの建設費と維持管理費 (5) 今まででも議論をしてきたが、国道と指定されながら、航路区間を道路建設と維持管理経費にカウントしない根拠と国の主張を聞かせていただきたい 2 道路特定財源と離島への配分 (1) 揮発油税、石油ガス税、自動車重量税は道路特定財源、国税である。19年度合計が3兆4076億円と言われている。揮発油税は本税と暫定措置分とで成り立っているが、年度末で暫定税率が廃止された場合、新潟県への配分額と市町村への配分額の見込と変化をどのように捉えているのか ① 19年度の佐渡振興局管内の国道・県道整備予算額の揮発油税と一般財源の比率 ② 佐渡市の道路整備予算の中の地方道路譲与税、石油ガス譲与税、自動車重量譲与税、自動車取得税、軽油引取税の項目別の配分額と道路特定財源の配分額 (2) 今年度の地方分は2兆2026億円と言われているが、佐渡市への地方道路譲与税の配分額を除く配分比率と額、主な充当事業箇所を聞かせていただきたい 3 石油製品の価格高騰対策	祝 優 雄

順	質 問 事 項	質 問 者
11	○ 冬将軍到来とともに灯油の需要期を迎え、佐渡島内の石油製品の販売価格は全国平均を大幅に上回る価格を維持しながら、未だ原因の究明がなされていない。この本土との価格差は放置できないところまで来ていると私は判断している。私の今までの指摘で業者と消費者代表との交渉の場を市が仲介したと聞くが、その経過と市長の価格差是正に取り組む決意の程を聞かせていただきたい 4 佐渡航路と観光対策 (1) 佐渡と同じく島内に油槽所が2箇所ある離島の販売価格。1箇所の油槽所のある離島の販売価格。架橋でつながった島の販売価格。粟島の販売価格 (2) 佐渡汽船の再建は、利用客を増やすことでなければ達成できない。今、行っている行政支援は膏藥治療であり完治することはない。国や行政が経営にくちばしを挟めば必ず迷走状態が続き出口が見出せなくなる。必要なことは、佐渡の基幹産業である観光産業に活気が戻る、元気を引き出す政策を軌道に乗せることができればすべてが解決する問題である。起爆剤になりうる観光政策を示していただきたい 5 両津地区中心街火災の消火作業 ○ 11月13日昼、両津地区の中心街で昼火災が発生、8棟に直接的な被害が起きた。この消火の一報把握から鎮火に至る詳細な説明と現場対応の記者会見が行われたが、会見に至る経過と内容を聞かせていただきたい	祝 優 雄
12	1 スポーツ行政について (1) 幻に消えた陸上競技場、総合体育館整備について (2) 体育施設設備計画について（ヨット艇庫） 2 住民サービス行政について (1) 島内の外国人既婚者に現在どのようなサービスを行っているのか (2) 島内の外国人既婚者にサービスを行う上の問題点は何か。その改善策は何か 3 観光行政について (1) 過去4年間の総括 (2) 来年度の佐渡観光誘致について（目標） (3) 来年度のスポーツ合宿事業誘致活動（目標・ポイント）について	木 村 悟
13	1 平成20年度予算編成に関連して ○ 財政の現状と重点施策について明らかにされたい 2 機構組織の現状と改善について (1) 人事組織の現状と今後の改善を問う (2) 支所の現状と今後の方向を問う 3 観光の街相川と県の合同庁舎の現状と将来について (1) 旧相川町で作られた街づくり構想と現在実施している「まちづくり交付金事業」の関連性と将来のまちづくり方向を問う (2) 県の合同庁舎の移転はあるのか 4 ケーブルテレビ施設事業について	小 杉 邦 男

順	質 問 事 項	質 問 者
13	(1) 施設整備の現状と旧市町村時からの整備事業額全体を明らかにされたい (2) 施設利用と番組提供料の関連について問う 5 実施事業におけるコンプライアンスについて (1) 国仲給食センターについて（教育委員会委員長出席要請） ① 給食センターにかかわる土地取得並びに建設決定に至る教育委員会の議決内容について問う ② 教育委員会における自校方式並びにセンター方式を含めた食育教育についての議論経過を明らかにされたい (2) フッ素洗口事業について（教育委員会委員長出席要請） 市の実施要綱並びに事業の実施計画、県教育長通知、市民厚生常任委員会での付帯意見との関連を問う (3) 二宮地区産廃問題について 6 後期高齢者医療保険制度について ○ 高齢対象者数はどのくらいか。医療受診への影響をどのように捉えているか	小 杉 邦 男
14	1 「後期高齢者医療制度」の来年4月実施について (1) 新保険料が現行の国保税を超える人も少なくない。しかも、保険料額は2年ごとに改定され、医療給付費の増加や「後期高齢者」の人口増に応じて自動的に引き上がる仕組みとなっている。制度スタート時に保険料を低く抑えた地域も将来の値上げは確実。現行の老人保健制度では、75歳以上の高齢者は国の公費負担医療を受けている被爆者や障がい者と同じく、保険証とりあげが禁止されている。医療を奪われたら直ちに命にかかわるからだ。老人保健制度を廃止し「後期高齢者医療制度」にかえることで、低年金・無年金者から容赦ない保険証とりあげを行おうという。 新制度では、「後期高齢者」と74歳以下の人は、診療報酬（医療の値段）が別建てとなる。今検討されているのは、「後期高齢者」の診療報酬を「包括払い（定額制）」とし、保険が使える医療に上限をつけてしまうことだ。そうなれば、「後期高齢者」に手厚い治療を行う病院は赤字となり、医療内容を制限せざるを得なくなる。 この制度がこのまま実施されたら大変なことになる。市は国に対して中止・撤回を求めるべきだ (2) 仮に国が実施した場合について、市独自の低所得者の保険料軽減制度の設置を求める。財源は県、市の一般財政からの繰入れ、広域連合事務局は「市の議決があれば可能」だと回答している (3) 65歳以上の障がい者は後期高齢者医療加入は任意、引き続き「県障」の対象にすることを求める (4) 「知らせる活動」「相談窓口」について このままいくと来年春、当事者が知らないうちに「保険料のお知らせ」「保険証の交付」が実施される。住民、特に当事者の高齢者へ「直接知らせる活動」が重要だ。市の責任で老人クラブ等での説明会を開催すべきだ。また市での相談窓口の設置を求める。 (5) 後期高齢者医療制度の問題点について	中 村 良 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
14	2 消防体制と組織編成について (1) 消防力の基準と現有力の基準について (2) (平成19年4月)整備計画に基づく隊員及び車両数について ① 各署の基準人員と現有人員について ② 各車両の基準人員と現有人員について (3) 各署の組織編成について ・ 消防職員の出身地と現住所について (4) 広域化等について 3 子育て支援について (1) 出産費用の軽減について ・ 出産育児一時金の上乗せについて求める (2) 乳児健診について ① 会場の改善を求める ② 休日健診、相談事業制度実施を求める (3) 教育費の父母負担の軽減について ・ 小・中学生の文化・体育活動に対する父母負担について改善を求める 4 農業の振興について ○ 米生産を揺るがす今年の米価下落は農家経営のみならず、地域経済にも重大な影響をもたらすもの。世論に押されて政府も「緊急対策」を講じざるを得ない事態となる。稲作の安定生産と食料自給率の向上が急務であり、「緊急対策」にとどまることなく抜本的な米価安定対策が不可欠だ。米価下落を抑えるため、政府の責任で米価の下支えの仕組みづくりが必要だが、見解を伺う 5 住民が利用しやすい市役所・支所の改善について ○ 「市役所に行っても、知らない人が多いし、金井町役場のときのように丁寧に対応してくれない」「支所に行っても用が足りない」「どんどん支所の人数が減らされている」多くの人が不満や不安を感じている。住民が利用しやすい市役所・支所に改善すべき 6 道路拡幅、消防・救急車両が15分間で到着できる道路整備について(松ヶ崎から柿野浦間) ○ 消防・救急車は、出動から到着まで15分間が目安と言われている。せっかく分遣所ができて、道路が現状のままでは緊急時に対応できない。道路を拡幅するなどの整備が急務だ	中村良夫
15	1 トキ放鳥について問う ○ 餌場作りの整備・確保状況について ① トキ・ビオトープ整備事業の成果について問う ② 2008年秋に予定されている試験放鳥を目前にして、次年度も同じ取り組みで対応できると考えているか問う ③ 平成19年度におけるトキ関連事業予算は、環境課、農業振興課、農地林政課など多くの課をまたいだ事業が多く見られるが、事業執行上問題は無いか問う	大石惣一郎

順	質 問 事 項	質 問 者
15	④ 環境省の放鳥エリアに準じた事業区域設定が多いが、佐渡市独自のエリア設定は考えられないのか ⑤ 餌場確保に欠くことのできない棚田地域への、新年度における支援策は考えているか問う 2 廃校舎問題について問う (1) 現在佐渡市には、活用されていない廃校舎は何校あるのか問う (2) 解体整理をされること、再活用が決定している校舎は、現在何校舎あるのか問う (3) 順次整理すると考えるが、整理順位などは廃校年度順というような基本的考えはあるか問う (4) 再活用が可能な施設について、佐渡市が積極的に関与して提案・広報などされているのか問う (5) 廃校により不要になった備品等について、基本的な取扱いについての要件はあるのか問う	大石惣一郎
16	新年度に向けての具体的政策を問う 1 行財政改革 (1) 統廃合・民営化の促進 ① 焼却場・火葬場 ② 病院 ③ 保育園 ④ 本庁機能の集約、支所・出張所 (2) 部長制の廃止、県職員との人事交流、市長の在庁日数 (3) C N S の放送番組 (4) 指定管理者制度のあり方 ① 海洋深層水施設 ② 畑野球場 (5) 下水道事業の見直し 2 農業政策 (1) 戦略的佐渡米販売の具体策 (2) 米飯給食の拡大（食育推進） 3 出生祝金の復活 4 空港整備の進捗状況 5 上水道の水質改善策	近 藤 和 義